

地域活動協議会への支援状況(運営)

【浪速区】(受託者:株式会社 地域環境計画研究所)

めざす姿	地域活動協議会の取組(※)	地域課題やニーズ(支援が必要な課題等)	実施時期	支援策(取組)名称	支援(取組)概要	実績(参加者数等)
	地域公共人材の活用	地域公共人材活用に関する情報提供	1月	地域公共人材活用に関する資料の配付	地域公共人材の制度への認知を広げるため、運営委員会メンバーに対し資料提供を行った。	他地域にも認知が広がるよう、同資料をまちづくりセンターのホームページでも掲載し、閲覧可能とした。 (幸町地域活動協議会)
Ⅲ 組織運営						
民主的で開かれた組織運営と会計の透明性が確保されている	議決機関(総会・運営委員会等)の適正な運営	運営の自律支援	6月	市民協働課との支援方針検討会議	今後のマンション住民へのアプローチおよび各地活協への支援について、市民協働課と支援会議をおこなった。	マンションアプローチおよび各地活協の現況報告と支援方針に関する意見交換ができた。
			4月～	運営委員会の開催支援	役員改選で新会長が選任され、主に町会長が参加し、連長会の報告を中心におこなっていた運営委員会から、運営委員全員が参加し、発言できる本来の地活協が目指す体制への移行を支援している。	日東地域活動協議会
			4月～	分野別スタッフミーティングの開催支援	【新世界】ネットワークサポーターが不在になるH29年度以降の体制について、喫茶ミーティングで協議した。会計報告での他地域の分担のやり方を提示。地域で現実的に対応する分担方法を協議した。また、実際の作業を確認する機会を別途持ち、不安解消につなげた。	 敷津地域活動協議会 日東地域活動協議会 新世界地域活動協議会
	会計事務の適正な執行	会計事務の自立支援	6月7日	なにわ区ラボ「会計のイロハ」	本年が役員改選年度にあたり、新任の事業担当者、会計担当者を対象とした会計講座を企画した。会計の基本ルールと今年度から変更になったルールの両方を、できる限り多くの関係者に伝えるため、昼と夜の2部構成で開催した。 (写真左:昼の部、右:夜の部)	  昼:18名(福祉事業担当者中心) 夜:18名(地活協役員中心) 当日のQ&Aの内容を資料としてまとめ、地域に配付した。 (資料はまちづくりセンターホームページでも公開中)
			6月～	「会計のイロハ」欠席者へのフォローアップ	会計講座の開催後、講座に参加できなかった事業会計担当者や会計役員のフォローアップとして、個別の会計レクチャーを実施した。また、恵美地域活動協議会では、会計講座の出席者より、地域での再演依頼があり、6月21日の運営委員会にて講座を開催した。	 事業年度が始まってまもない時期に会計レクチャーを開催し、資料なども配布することができた。
			7月	民間助成金の活用にあたっての注意点のレジュメ作成	今年度、初めて民間助成金「子どもゆめ基金」の認定を受けている地活協へ、会計報告等に関する助成金活用の注意点をまとめたレジュメを配布した。	幸町地域活動協議会 敷津地域活動協議会 浪速地域活動協議会
	多様な媒体による広報活動	広報活動の自立支援	4月～	ブログ更新や新聞づくりのレクチャー	新任の広報担当者などに、活動風景の写真を撮る際の工夫や注意点、取材をする時の工夫やブログ記事の文章のコツなどをレクチャーしている。また、地域新聞の広報会議に同席して、内容の協議を支援した。 (左:広報会議の様子、右:ブログ更新のレクチャー)	  全地域

地域活動協議会への支援状況(運営)

【浪速区】(受託者:株式会社 地域環境計画研究所)

めざす姿	地域活動協議会の取組(※)	地域課題やニーズ (支援が必要な課題等)	実施時期	支援策(取組)名称	支援(取組)概要	実績 (参加者数等)
			8月9日	なにわ区ラボ「伝える地活協」	地域の情報発信について、各地域の取り組みや工夫を地域の担当者同士が学びあう場として企画。社会福祉協議会の広報啓発補助メニューや他区の広報活動の事例紹介などの情報提供もおこなった。 (左:当日の様子、右:告知チラシ)  	参加者数:24名 他区まちづくりセンター参加者:2名 印刷物と電子媒体に分けて発表してもらい、各地活協の工夫やアイデアを共有することができた。また、個人情報保護に関するルールについて、広報担当者や地活協役員に周知することができた。
IV 区独自取組						
(区が「自律的運営に向けた地域活動協議会の取組(イメージ)」において設定している具体的な取組を右欄に記載)						

※具体的な取組については「自律的運営に向けた地域活動協議会の取組(イメージ)」を参照